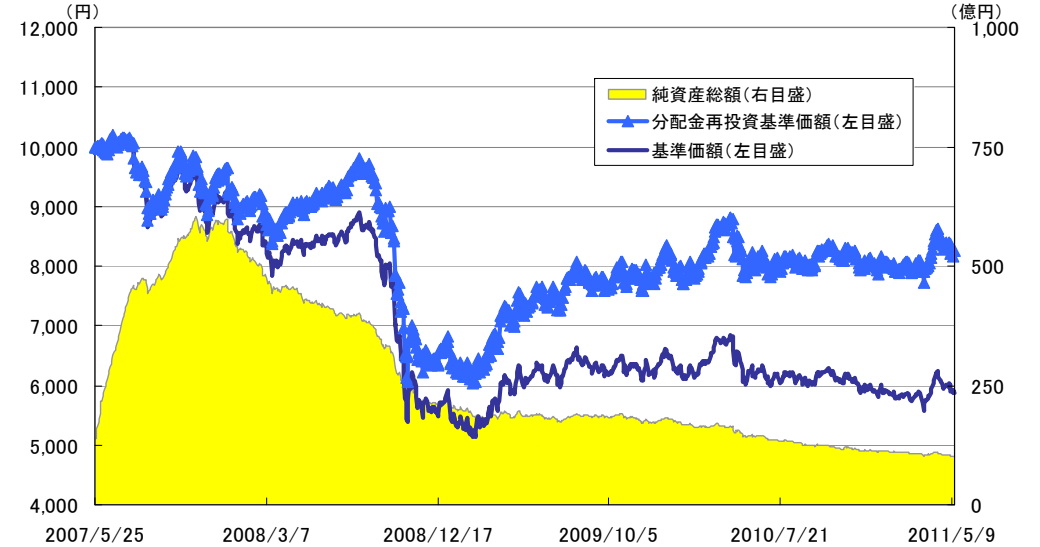


ファンドの特色

- 1 「パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」および「短期債マザーファンド」を主要投資対象とし、「パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」に95%程度、「短期債マザーファンド」に5%程度投資することを基本とします。
- 2 「パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」への投資を通じて、新成長国が現地通貨で発行した国債等およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノートへの投資を行います。
- 3 「短期債マザーファンド」への投資を通じて、国内外の公社債への投資を行います。
- 4 実質組入れの外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※「短期債マザーファンド」においては為替ヘッジを行います。
- 5 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。原則として安定分配を目指しますが、毎年2・5・8・11月の決算時には、基準価額の水準等を勘案し、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
※分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産総額の推移 (2007/5/25～2011/5/12)



* 上記の「分配金再投資基準価額」は過去に支払った分配金を再投資したと仮定して計算していますので、実際の基準価額とは異なります。なお、再投資する際に税金は考慮していません。基準価額は信託報酬(年1.365%(税抜年1.3%)、外国投資信託証券の信託報酬等(年0.5%)を含めた概算値は年1.84%(程度)控除後のものです。

ファンド・データ (2011/5/12現在)

設 定 日	2007年5月25日
決 算 日	原則毎月12日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配落後)	5,880 (円)
当期中の騰落額	▲ 225 (円)
純資産総額	101 (億円)

分配金実績 (1万口あたり、課税前)

2007/7/12～2009/1/13	2009/2/12～2010/10/12	2010/11/12	2010/12/13		
65円	40円	40円	40円		
2011/1/12	2011/2/14	2011/3/14	2011/4/12	2011/5/12	設定来合計
40円	40円	40円	40円	40円	2,355円

* 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

ファンドの収益率と組入状況

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンドの収益率	-3.7%	2.9%	-1.9%	-6.9%	-17.5%

* ファンドの収益率の算出には「分配金再投資基準価額」を用いており、過去に支払った分配金を分配日に再投資したと仮定して計算しています。なお、再投資する際に税金は考慮していません。基準価額は信託報酬控除後のものです。収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

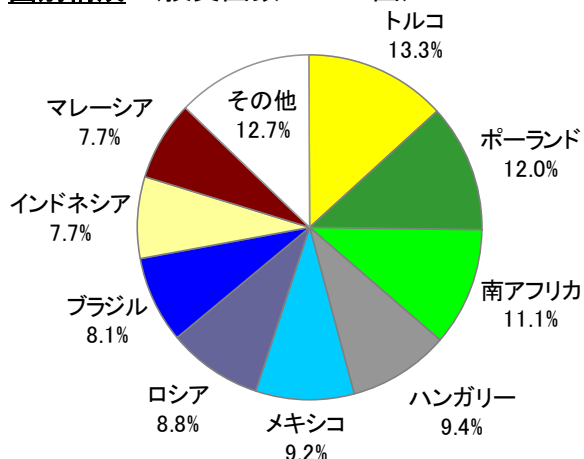
パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド	98.7%
短期債マザーファンド	0.5%
キャッシュ等	0.8%

* 比率は純資産総額対比です。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

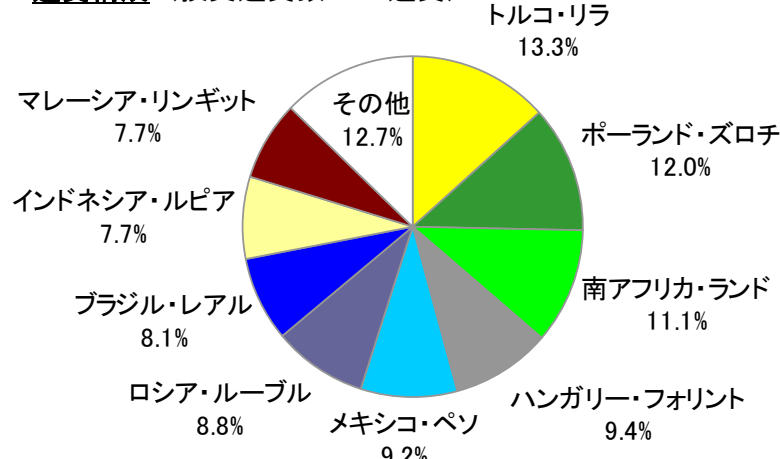
パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドの組入状況 (2011/4/28時点)

国別構成 (投資国数: 15カ国)



※その他はコロンビア(4.2%)、チリ(2.5%)、タイ(2.0%)、ペルー(2.0%)、アルゼンチン(1.5%)、フィリピン(0.5%)を示しています。

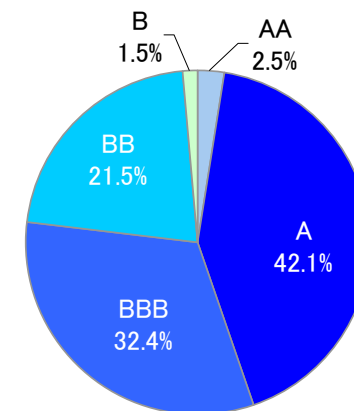
通貨構成 (投資通貨数: 15通貨)



※その他はコロンビア・ペソ(4.2%)、チリ・ペソ(2.5%)、タイ・バーツ(2.0%)、ペルー・ヌエボ・ソル(2.0%)、アルゼンチン・ペソ(1.5%)、フィリピン・ペソ(0.5%)を示しています。

*各構成比率は組入有価証券の2011年4月28日時点の時価総額に対する評価額の比率です。

格付構成



*格付構成はS&P及びMoody'sの格付けの高い方に従い、また格付けを取得できない債券には自国通貨建ての長期価格付けや社内格付けに従い、分類しています。

組入上位10銘柄

順位	国名	銘柄名	通貨	クーポン (%)	償還日	格付け		直接利回り (%)	最終利回り (%)	修正デューレーション	投資比率 (%)
						S&P	Moody's				
1	ブラジル	ブラジル国債	ブラジル・リアル	10.000	2014/01/01	BBB+	Baa3	10.28	12.79	2.05	5.2
2	ポーランド	ポーランド国債	ポーランド・ズロチ	5.750	2014/04/25	A	A2	5.69	5.24	2.66	4.3
3	南アフリカ	南アフリカ国債	南アフリカ・ランド	10.500	2026/12/21	A	A3	9.07	8.64	7.88	3.9
4	トルコ	トルコ国債	トルコ・リラ	10.000	2012/02/15	BB+	Ba2 *	9.38	1.26	0.37	3.8
5	マレーシア	マレーシア国債	マレーシア・リンギット	4.378	2019/11/29	A+	A3	4.25	3.96	6.98	3.7
6	トルコ	トルコ国債	トルコ・リラ	11.000	2014/08/06	BB+	Ba2 *	10.42	8.85	2.66	3.6
7	ロシア	ロシア国債	ロシア・ルーブル	7.850	2018/03/10	BBB+	Baa1	7.39	6.57	5.23	3.4
8	ポーランド	ポーランド国債	ポーランド・ズロチ	6.250	2015/10/24	A	A2	6.10	5.56	3.71	3.4
9	南アフリカ	南アフリカ国債	南アフリカ・ランド	13.500	2015/09/15	A	A3	11.13	7.66	3.34	3.4
10	コロンビア	コロンビア国債	コロンビア・ペソ	7.750	2021/04/14	BBB-	Ba1	6.98	6.22	7.02	3.1

*当該債券の格付けは開示がない為、自国通貨建て長期価格付けを示しています。
※投資比率は組入有価証券の2011年4月28日時点の時価総額に対する評価額の比率です。

組入状況

組入銘柄数	54銘柄
債券組入比率	93.5 %
キャッシュ等	6.5 %

*上記の比率は純資産総額対比です。

ポートフォリオ特性値

平均直接利回り	7.54 %
平均最終利回り	6.97 %
平均デューレーション	4.44

キャッシュ等は平均値算定データから除いています。
上記の利回り計算は、委託会社の見解に基づいて行っています。

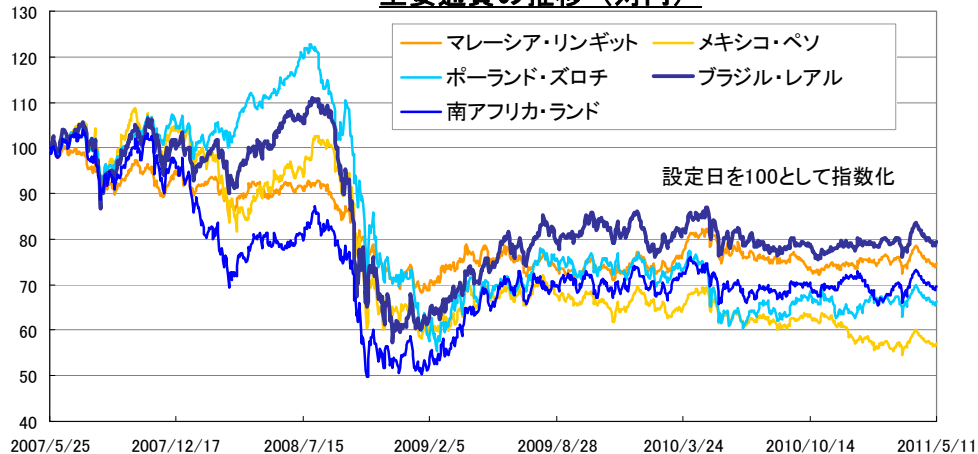
■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けやす)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

＜ご参考＞

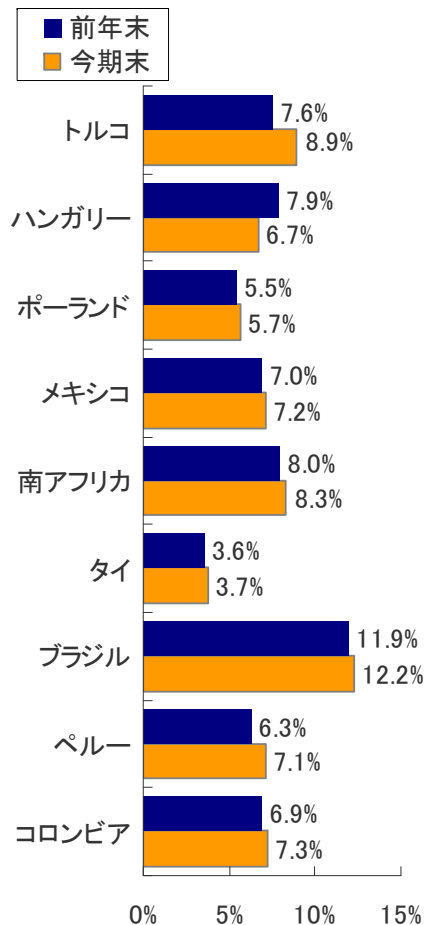
現地通貨建て新成長国債の代表指数の推移



主要通貨の推移 (対円)



新成長国債の利回り



新成長国通貨 (対円)

	2010年 12月末	前期末	今期末	年初来 変化率	前期比 変化率
トルコ・リラ	53.788	55.761	51.345	-4.5%	-7.9%
ハンガリー・フォロント	0.399	0.459	0.438	9.8%	-4.6%
ポーランド・ズロチ	28.018	30.697	29.730	6.1%	-3.1%
メキシコ・ペソ	6.712	7.184	6.997	4.2%	-2.6%
南アフリカ・ランド	12.512	12.700	11.870	-5.1%	-6.5%
タイ・バーツ	2.746	2.803	2.695	-1.9%	-3.9%
ブラジル・レアル	49.867	53.452	50.195	0.7%	-6.1%
ペルー・ヌエボ・ソル	29.496	30.134	29.056	-1.5%	-3.6%
コロンビア・ペソ	0.431	0.465	0.452	4.9%	-2.7%

※小数点第4位以下を四捨五入しているため
変化率と一致しない場合があります。

現地通貨建て新成長国債の代表指数の推移および新成長国債の利回りは、JPモルガン社GBI-EMブロード・ディバーシファイド指数で示しているため、ファンドが実際に投資している債券のものとは異なります。現地通貨建て新成長国債の代表指数の推移および主要通貨の推移グラフは同指数およびWMロイター仲値をもとに設定日を100として指数化、新成長国通貨の表はWMロイター仲値の決算日時点における直近データを基に、それぞれパインブリッジ・インベストメンツが作成しています。また、新成長国の利回り、および新成長国通貨の表示国は前年末の組入上位国を基に表示しています。(出所:ブルームバーグ、トムソン・ロイター・データストリーム)

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けやす)を受けやす、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ ファンドのコメント (2011/4/1～2011/4/29)

＜市場動向＞

当期間の現地通貨建て新成長国債券市場では、米国とユーロ圏の金融政策の見通しに注目が集まる中、中東・北アフリカ地域で激化していた反政府デモが徐々に鎮静化したことを背景に、リスク選好度が回復し上昇基調となりました。米国政府がハト派的スタンスを継続していることや、米国の景気回復基調がやや鈍化している影響で米国ドルが弱含み、債券市場は全般的に上昇基調となりました。新成長国の中央銀行は政策金利の正常化を図っていることから、CEEMEA(中・東欧、中東、アフリカ)地域の通貨を筆頭に米国ドルに対しては上昇しました。新成長国のいくつかの政府は、魅力的な利回りを目的とした過剰な資金流入に対して警戒感を示しているものの、通貨の上昇はインフレ率上昇の抑制効果もあることから、自国通貨高を容認している国もあり、各国で対応がまちまちとなっています。

＜運用報告＞

パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドは、経済のファンダメンタルズが相対的に強固であり、加えて今後の経済成長見通しも良好な国の中で、魅力的な利回りが見込める新成長国債を中心にポートフォリオを構築しています。4月上旬は、ポーランドとハンガリーをアンダーウェイトとしていたことがマイナス要因となったことを受け、ファンダメンタルズの見通し以上に、ハンガリー・フォリントとポーランド・ズロチのバリュエーションが改善していることと、テクニカル面での見通しが良好なことを背景に、下旬にかけて組入れを引き上げました。新成長国債券市場は全般的に底堅い動きをしている中、アルゼンチンは出遅れ感が強いものの軟調な推移を示していることから組入れを引き下げました。

＜新成長国のマンスリーフォーカス 第46回＞

“メキシコ” 4月の現地通貨建てメキシコ債券市場は、最も堅調な推移となりました。予想インフレ率が安定して推移していることや、良好な景気回復を背景に通貨ペソと債券価格がともに上昇しました。また、中央銀行総裁が現状の通貨水準は適正範囲にあり、今年にはインフレ懸念の必要はないとコメントしていることも下支え要因となっています。まだ全ての分野が回復しているわけではなく、年後半にはさらなる回復が期待されることから、通貨ペソや債券市場にも追い風となると思われます。

“ロシア” 原油価格の上昇と、良好な市場心理に下支えされ、債券、為替市場ともに堅調な推移となりました。4月29日に中央銀行が予想外にも政策金利の引き上げを発表したことで、現地通貨建て債券市場の利回りは上昇(価格は低下)し、通貨ルールは米国ドルに対し上昇しました。ロシアは昨年夏の猛暑により食品価格が高止まりしていることでインフレ圧力に拍車をかけていることや、消費者心理が悪化していることで本格的な景気回復となっていないものの、年後半には、輸入と鉱工業生産の回復が期待されることから、徐々に景気は底堅さを取り戻すことが考えられます。また今後は2012年3月の大統領選挙に向けて市場の注目はシフトしていくと思われます。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けやす)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

このような運用を行った結果、4月末現在、15カ国(15通貨)・54銘柄の現地通貨建て国債等を保有し、引き続き魅力的な分散投資を実現しています。

＜運用方針と今後の見通し＞

各新成長国の中央銀行は金融引き締めに動いてきたことで、ここきてインフレ圧力が収まりつつあり、2011年後半頃までには予想インフレ率は低下することが見込まれます。米国の景気回復と、ハト派的なスタンスを継続する米国政府の対応には未だ不確定要素が強く、中期的には米国ドルが弱い動きを示すことが考えられます。一方で、ここ最近上昇が続いた新成長国通貨は、テクニカル面だけで見ても短期的に調整局面を迎えるリスクが高く、今後の動向には慎重な対応が必要だと考えます。

パインブリッジ現地通貨建て新成長国債インカムオープンのコメント (2011/4/13～2011/5/12)

パインブリッジ現地通貨建て新成長国債インカムオープン＜パッション＞は、運用の基本方針に従って、パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに95%程度以上を投資することを旨とした運用を行っています。5月12日現在、パインブリッジ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドを98.7%、短期債マザーファンドを0.5%組入れています。このような運用を行った結果、6,145円でスタートした基準価額は、米国の景気回復がスローダウンしていることや欧州の財政不安などを背景に米国ドルが弱含み、全般的に円高基調となった影響を受け、5,920円となりました。なお実質的に投資している新成長国債等から受取ったインカム収入等を中心に、元本1万口あたり40円(課税前)の分配金をお支払いした結果、分配後の基準価額は5,880円となりました。

リスクおよび留意点

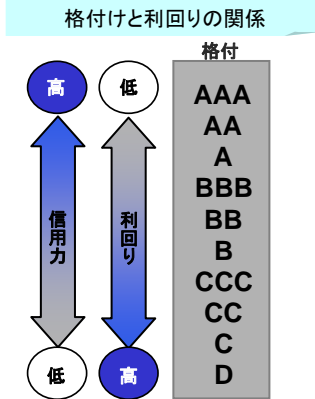
当ファンドは主に投資信託証券(マザーファンド受益証券を含みます。)への投資を通じて、実質的に新成長国が発行した現地通貨建ての国債等および内外の公社債・短期金融商品等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましてはファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえお申込みください。当ファンドが有する主なリスク要因として、以下の項目が挙げられます。

価格変動リスク

当ファンドの実質的な主要投資対象である債券は、一般に、経済、社会情勢、企業業績ならびに市場の需給等の影響を受け変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額を下げる要因となります。

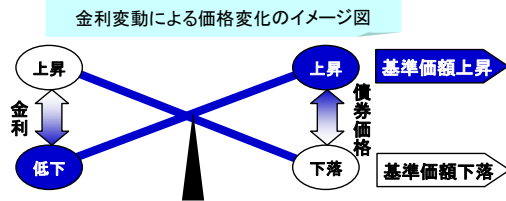
信用リスク

信用リスクとは、債券の発行体の財務状況などの悪化等の理由による価格の下落、利息・元本・償還金の支払不能、または滞りなどのリスクをいいます。当ファンドの実質組入対象となる新成長国の国債等は、先進国などの格付けが上位の国と比較して高い利回りを提供する一方、債券価格の変動がより大きく、支払遅延または債務不履行(デフォルト)するリスクが相対的に高いと考えられます。国債の発行国の信用力は一般的に格付機関により表されますが、格付けが低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行国の財務状況の悪化、社会情勢の変化等により格付けが低下することにより、債券価格が大きく下落し、基準価額を下げる要因となることがあります。



金利変動リスク

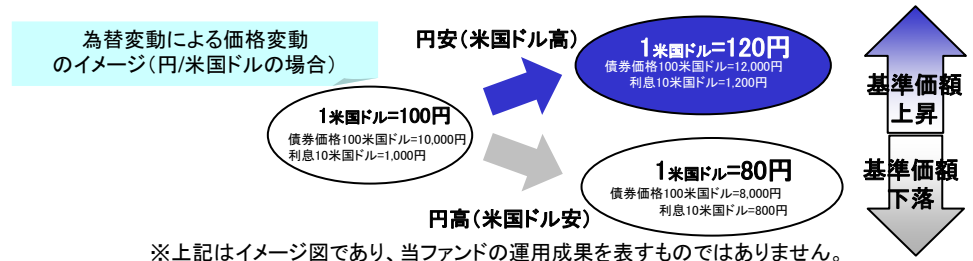
金利変動リスクとは、金利変動により債券の相対的な価値が変動するリスクをいいます。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、当ファンドの基準価額を下げる要因となります。



※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

為替変動リスク

当ファンドは外貨建ての債券を実質的な主要投資対象とし、原則として為替ヘッジを行わないため為替変動リスクを伴います。一般的に外国為替相場は、金利変動、政治・経済情勢、需給その他の様々な要因により変動します。この影響を受けて外貨建て資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。また当ファンドは、現地通貨建て債券に投資することから、相対的に高い為替変動リスクを有します。



新成長国のリスク(カントリーリスク)

新成長国には、先進国と比較して政治・経済および社会情勢の変化が債券価格に及ぼす影響が相対的に高い可能性があります。発行国における経済危機、政治不安、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結等の規制の導入、自然災害、戦争などの際には、通常の運用を行えない場合があり、これらの事象により基準価額に大きな影響を与える可能性があります。また当ファンドは、現地通貨建て債券に投資することから、通貨交換が行えないリスクや流動性リスクを有します。したがって、当ファンドが投資対象とする新成長国の市場は、市場環境や社会情勢の著しい悪化を受けた場合には、投資資金を日本円に戻すのに日数がかかる場合があり、換金代金の支払日が遅延する可能性があります。

流動性リスク

流動性リスクとは、組入れている債券などを売買しようとする場合に、需給状況により希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け基準価額が下落する要因になることがあります。また大量の換金請求があり組入債券を売却し切れない場合など、換金の請求を受付けない場合もあります。なお、当ファンドは新成長国債等に投資することから、先進国債に比べ流動性リスクの影響を相対的に大きく受けます。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

お申込みメモ

- 信託設定日 2007年5月25日(金)
- 信託期間 無期限
- 購入単位 <分配金受取りコース>1万口以上1万口単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から当該基準価額の0.2%の信託財産留保額を控除した額
- 換金代金 原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込受付中止日 アイルランドの銀行休業日と同日の場合
- 収益分配 毎月12日の決算日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。
<分配金受取りコース>決算日から起算して5営業日までにお支払いします。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、岡三証券株式会社の本支店等にご用意しています。
- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号
加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会、
日本証券業協会
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社: 岡三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会/日本証券業協会

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
<http://www.pinebridge.co.jp/>
TEL: 03-5208-5858 (営業日の9:00~17:00)

※詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

投資信託には、ご購入・ご換金時に直接的にご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

■ 購入時に直接ご負担いただく費用

- 購入時手数料: 購入申込口数に応じて、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に次の率を乗じて得た額とします。

5,000万口未満	: 3.675%(税抜3.5%)
5,000万口以上1億口未満	: 2.625%(税抜2.5%)
1億口以上5億口未満	: 1.575%(税抜1.5%)
5億口以上	: 1.050%(税抜1.0%)

※購入時手数料は販売会社により異なる場合があります。

■ 換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金時手数料: かかりません。
- 信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額とします。

■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.365%(税抜年1.3%)の率を乗じて得た額とします。なお、当ファンドが投資対象とする外国投資信託証券には別途年0.5%の信託報酬等がかかるため、当ファンドの実質的な運用管理費用の概算値は年1.84%程度となります。

※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬等を含めてお客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しております。

- その他費用: 有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

■ 本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■ 当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けやす)を受けやすですが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■ 本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。■ 本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。